

＜教育目標＞

- 思いやりのある子ども
- 進んでやりぬく子ども
- じょうぶな子ども
- よく考える子ども



平成30年 1月9日(火)

練馬区立豊玉第二小学校

校長 佐野 匡

豊二小だより 1月号

伝える

校長 佐野 匡

新年おめでとうございます。穏やかな天候に恵まれたお正月、冬休みが明け、本日から学校が始まりました。寒さは相変わらず寒いですが、子供たちの元気な笑顔や笑い声が学校の空気をあたたかいものにしてしてくれます。子供同士、そして子供と教職員の「おはようございます。」というあいさつの声に、とてもうれしい気持ちになりました。三学期は学年のまとめであると同時に、次の学年を意識し、準備をする学期です。上の学年のよさを見習いながら、そして、下の学年のお手本になることを意識させながら指導をしていきます。

さて、今年度、本校は子供たちに「伝え合う力」を育てたいと考え、教員の研修に取り組んでいます。伝え合うためには、話すことも、聞くことも、相手の気持ちや状況を推し量ることも必要です。今日の始業式もそうですが、月曜日に行われる朝会など、校長には全校の子供たちにむかって話をする機会がいくつかあります。研修を進める中で校長である私はどのくらい伝えられているのか。また、子供たちはどのくらい聞き取れているのかを調査しました。朝会の時に同じ長さの話を2つし、その後、教室で話したことを書いてもらいました。話したことが何についてかが分かっていたら1点、内容を詳しく分かっていたら2点とし、4点満点で一学期と二学期に行いました。一学期の結果を見たときにはたくさんの反省をしました。一番伝え方について学ばなければいけないのは私だなあ。とも思いました。



外部の講師の先生からも、指導をいただきながら「みんながわかる」「伝え合う力を高める」授業づくりをしてきました。11月には、どの学年・学級でもその成果が少しずつあらわれた結果が得られました。よりよい学びを子供も大人もする大切さを実感しました。1月19日(金)にはこれらの取り組みを他校の教員に報告する発表会をさせていただくことになっています。

豊二小では、大人も子供も一緒に学び、共に成長する一年にしたいと思います。本年も地域・保護者のみなさまのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

校長講話聞き取り 2点以上の人割合

